

# 今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】



KAWASAKI CITY

平成24年3月5日（月）～3月11日（日）〔平成24年第10週〕の感染症発生状況

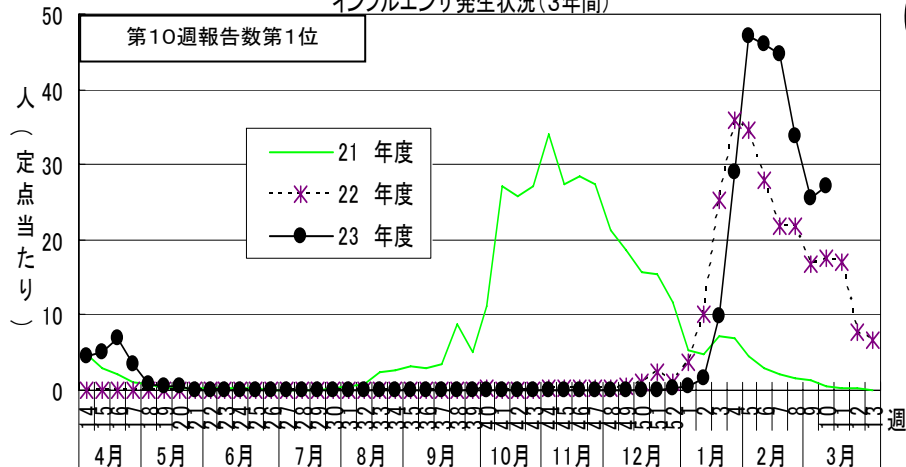
第10週で患者報告数の多かった疾病は、1)インフルエンザ 2)感染性胃腸炎 3)A群溶血性レンサ球菌咽頭炎でした。

インフルエンザは定点当たり27.11人と前週（25.63）より患者報告数は増加（B型ウイルスの検出率増加）し、流行発生警報基準値（定点当たり30人）に近いレベルで推移し続けていますので、引き続き予防対策の徹底が重要です。

感染性胃腸炎は定点当たり8.48人と前週（8.33）より患者報告数はやや増加していますが、例年に比較すると低いレベルで推移しています。

デング熱の発生届が2件（それぞれシンガポール及びバリ島への渡航歴あり）ありました。

インフルエンザ発生状況(3年間)

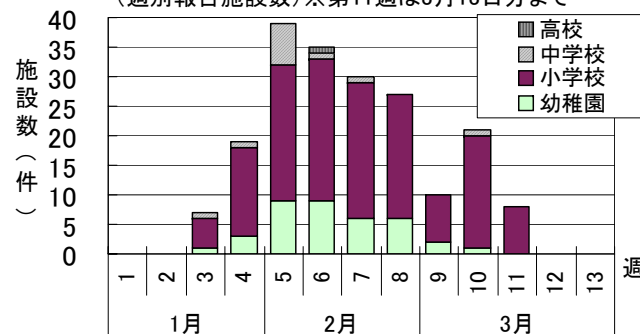


## インフルエンザの再感染に注意！！～B型増加～

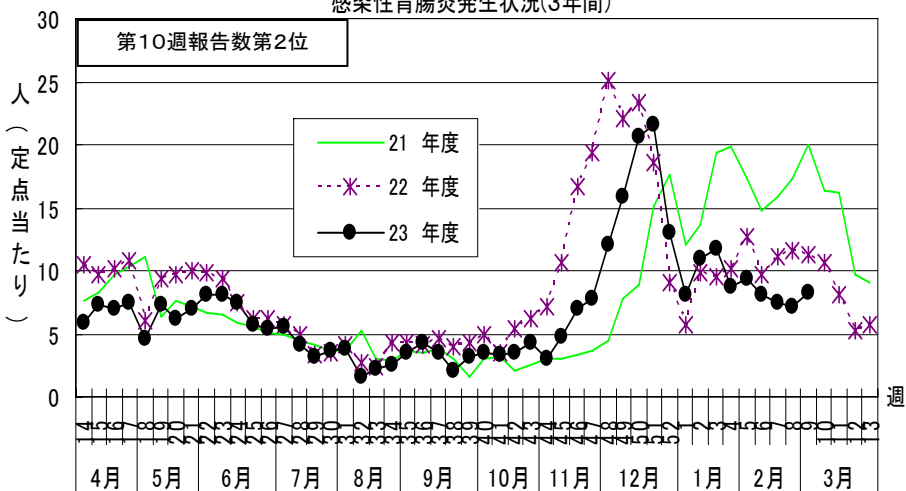
左のグラフのとおり、第10週の患者報告数は前週を上回りました。さらに学校等における臨時休業の報告施設数についても、前週に比べて増加しています（右上グラフ参照）。

これらの理由の一つとして、「B型ウイルス」による再感染が考えられます。今シーズンに一度インフルエンザにかかった方も再感染する可能性がありますので、引き続き、手洗い・うがいなどの対策を徹底してください。

川崎市内の学校等の臨時休業実施状況  
(週別報告施設数)※第11週は3月13日分まで



感染性胃腸炎発生状況(3年間)



右下のグラフのとおり、1月から2月までのインフルエンザの原因は「A香港型」というインフルエンザウイルスが主流でしたが、3月以降は「B型」のウイルスが主な原因となっています。

A香港型のウイルスに感染しても、異なる型のウイルスに対する免疫は獲得できないため、B型のウイルスに感染することがあります。

川崎市インフルエンザウイルス検出状況

